

改めて庄原市の夏の魅力を再発見してみよう

☆注目の eco涼イベント☆

○朝ヨガ体験
 とき 8月24日(金)・25日(土)
 ところ 休暇村帝釈峡
 朝の爽やかな気候を生かした早朝のヨガ体験を実施します。原市の涼しい気候の売り込みと宿泊客の増加を目指しています。

○山ヨガ体験
 とき 9月2日(日)
 ところ 休暇村吾妻山ロッジ
 ヨガインストラクター指導のも

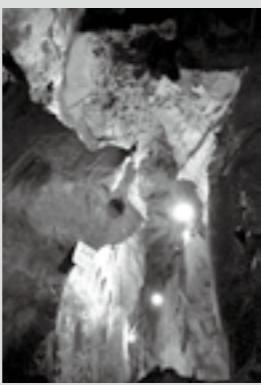
と、山々を見渡しながらの「ヨガ体験」と広島登山研究所今村みずほさんプロデュースの「吾妻山登山」を組み合わせたこのイベントで、山の魅力を広くPRします。



☆ eco涼ポイント☆



☆雄滝・雌滝(高野町)
 大鬼谷オートキャンプ場奥。雄滝の落差17m、雌滝の落差12m。高野町の7月～9月の平年気温は21.2℃と涼しい。



☆白雲洞(東城町)
 夏でも気温11℃が体感できる帝釈峡の鍾乳洞。天井から垂れ下がる鍾乳石、地面から竹の子のように盛り上がった石筍は、何万年もかけて作られた自然芸術です。

next 庄原さとやま博

「もつとステキに輝き体験」

庄原市発 eco涼 健やか夏気分

商工観光課観光振興係

☎0824-73-1179

庄原市観光協会では、昨年の「庄原さとやま博」で新たにコーディネートしたイベントや体験メニューを、「next 庄原さとやま博 もつとステキに輝き体験」として、本年度も継続して展開しています。

これらをより効果的に発信するため、庄原市の強みを生かした「古式の農事」「eco涼」「花と緑」の3つのテーマを設定し、ブランド化を目指す取り組みを進めています。

この中から、今回は庄原市の魅力の一つである夏の涼しさを広く周知し、「庄原市＝避暑地」としてのイメージにより観光客誘致を目指す、「庄原市発 eco涼 健やか夏気分」の取り組みを紹介します。



目指すブランドイメージ

さとやま博を通じて生み出された体験メニューや既存の地域イベントなどを、3つのテーマに沿った形で組み合わせ一体的なPRを行うことで、庄原さとやまブランドのイメージを高めていきます。

古式の農事 “神秘比婆”

神楽や牛供養田植などの伝統芸能や伝統文化、かしわ餅や山菜料理などの郷土食、たたらや古事記にまつわる歴史、風景を一体的にPR

花と緑

国営備北丘陵公園、節分草などの自生地、しょうばら花会議のさとやまオープンガーデンなど「庄原市＝花」というイメージによるPR

庄原市発 eco涼 健やか夏気分(自然とスポーツ)

夏でも涼しいスポットを中心とし、専門誌がいくつも発刊されるほど人気を集めている山ガール(登山)と山ヨガなども組み合わせ、「庄原市＝避暑地」としてPR

Beauty Walking in 庄原

「ビューティ ウォーキング」

初めての山歩き、山ガール向けガイドリーフレット制作

初心者でも登山が楽しめる庄原市の山を、広くPRするリーフレットを作成しました。

「キレイが手に入る」をキャッチフレーズに、山ガール向けコースを紹介。比婆山連峰を巡るコース上のおすすめポイントや「ビューティースポット」として紹介しながら、宿泊情報や近隣の立ち寄りスポットなどもPRしています。このガイドリーフレットは5千部作成し、8月上旬から登山愛好家をター



ゲットにした店舗などに置き、登山客獲得をねらいます。

next 庄原さとやま博、eco涼に関するお問い合わせは庄原市観光協会 ☎0824-75-0173まで。 ホームページアドレス <http://shobara-info.jp/>

つながり合う観光を目指す



庄原市観光協会 会長 土井 幹雄さん

これからの観光はもつと広い広域的な連携が必要です。合併して8年経ち、この間各地域がそれぞれ行ってきたイベントなどをリンクさせてひとつの庄原市としてやってきますが、まだまだ課題があります。隣

の三次市や近隣市町との連携もまだまだです。市内各地に点在する一つ一つの魅力あるスポットやさとやま博で生まれた体験メニューなどが線になってつながるよう、また、線が面になっていくように、商工会議所などの団体はもちろん、観光に携わっているそこにいる「人」とつながり合うことが必要です。中国横断自動車道尾道松江線の完成と同時に、多くのお客さまに来てもらえるように、頑張っていきたいと思いま